

太田川 こどもモニター

「モニターからの報告」

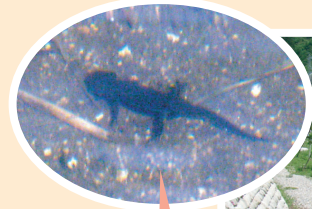
「回答メール」

さかた ゆき
坂田悠綺さん
(モニター会員番号 17006)

平成17年度
第12号

からの報告
「太田川こどもモニターの
集いに参加したよ」

10月29日に開催された「太田川こどもモニターの集い」に参加した仲間から、さっそく、報告のメールが届いたよ！
坂田さんがくれたのは1つのメールだけど、いろいろな内容を送ってくれたので、その中から2つについて回答するよ。



今年の6月に事務局で撮ったイモリの写真。坂田さんと同じ場所で撮ったよ。



坂田さんがイモリを見た場所は、「川・森・文化交流センター」を出て道の反対側にあるビオトープ池だよ。

↑坂田さんが撮って送ってくれたイモリの写真

日本の本土で見られるイモリは一種で、「ニホンイモリ」というよ。おなか赤い色をしているので、「アカハライモリ」とも呼ばれているんだ。背中黒色で、皮ふにはつやがなく、ザラザラしているよ。両生類で、カエルと同じように、成長すると陸上でも生活ができるようになるんだ。よく似た名前と形の「ヤモリ」は、は虫類で、別の種類の生物だよ。

<注意！！>イモリは皮ふから毒を出すから、さわったらかならず手を洗わないといけないよ。手でさわるのは大丈夫だけど、イモリをさわった手で目をこすったりしたら、大変だよ！



今年の6月に、事務局でも同じ場所でミスナラを撮ったよ。坂田さんが送ってくれた写真より、まだドングリが小さいのがわかるね。

↑坂田さんが撮って送ってくれたミスナラの写真

通信の2号でもドングリの見分け方について書いたばかりだけど、ミスナラについては通信にのせていなかったのだから、ここで少し紹介するよ。

ミスナラは、通信で紹介したコナラに葉の形がよく似ているけど、ミスナラの葉のほうがコナラよりもギザギザしているんだ。ドングリは卵型でこげ茶色、ぼうしの形はコナラよりも深くて大きいよ。ミスナラのほうが、より上流の方に生えるよ。

また、ミスナラの木は、かたくて丈夫なので家具の材料に使われたり、個性的な香りがあるので洋酒をつくる「たる」の材料にもなるよ。

太田川こどもモニターの集いに参加しました。

✉坂田 悠綺さんからのメール（平成17年10月30日）

- 楽しみにしていた「太田川こどもモニターの集い」に参加しました。今年来た台風の影響と、10月29日の天気が悪かったので、バスや部屋の中での活動が多くて、ちょっと残念だったけど、せっかく上流域まで行ったので、色々見てきました。
- ①「川・森・文化交流センター」の近くの滝山川で、太田川事務所の人から「イモリ」がいるよ。と教えてもらいました。川の上からのぞくと、15cmくらいの黒いイモリがいました。
 - ②滝山川には、「ミスナラ」の木がたくさんあって、大きめのどんぐりの実がたくさんついていました。妹のゆにとどんぐりを拾いました。
 - ③「魚道」のことを教えてもらいました。バスが大きくて近くに行くことはできなかったけど、ビデオや説明で「魚道」のことがわかりました。温井ダムに行って、大きなこのダムには魚道みたいなものはないのかな？と思って質問したら、ついていないということでした。いつかこのダムにも魚道みたいなものができるといいのと思いました。
 - ④私は広島ウォッチングクラブにも入っているのだから、「魚道」のことを壁新聞にして発表しようと思いました。
 - ⑤私と妹の弥優は今年の夏休みに広島ホームテレビの「ふじいあきらの夏休みエネルギー探検バスツアー」に参加して、発電所をいくつかまわりました。その時にも温井ダムに行きました。今回は電力だけではなくて、他の役割も知ることができてよかったです。でも、前は放水口の横まで行けたし、下にある発電所も見ていたので、ちょっと自慢したくなりました。
 - ⑥台風14号の被害はたいへんなものだと思います。今回行った上流域では崖崩れをした場所や、水につかった河原などたくさんまだ残っていました。私の住む下流でもたくさんの土が流されてきて、川に積もっています。この土は何年くらいすると、もとに戻るのだろうか？と思います。川の流れの強いところと弱いところが少し変わった気がするのだから、何か影響がでないか心配です。



<温井ダム資料館での自由見学のようす>
太田川河川事務所の嘉村副所長(右はじ)と温井ダムの模型を見ながら話をしたよ。左はじが坂田悠綺さん。

報告ありがとう

坂田悠綺さん、集いの参加をふくめて、6回目の活動&報告だね。集いで体験が新鮮な翌日に、さっそく、感想をメールしてくれてありがとう。

⑥で川の流れが変わって影響がないか、心配と書いてくれているね。洪水で川の環境が変化することを「かく乱」といい、かく乱が起きやすい環境をすみ場としている動植物もいるんだよ。調べてみてね。(もし判らなかつたら、またメールをください。)

今回はみんなの期待にそえず屋内での活動が多くなってしまったけれど、集いで見たり体験したりしたことが太田川についてあらためて考えるきっかけになれば、うれしいな。

